

# TOPICS

# TOPICS

合併特集

## 1市6町合併に向けて

前回は、2月28日に設置された「1市6町合併に関する事前協議会議」の概要とその会議に提案された「重要協議項目」についてお知らせしました。

今回は、第2回事前協議会議の概要と重要協議項目の中から、合併後のまちづくりの方向性などを示す「合併市町村基本計画」についてお知らせします。

### ◆合併市町村基本計画

#### 調整方針(案)

合併基本計画の策定方針として、新市まちづくり計画(長浜市・浅井町・びわ町合併協議会)を基本におき、6町の総合計画等を斟酌して、新たに「長浜市及び東浅井郡・伊香郡6町合併基本計画」を策定することとする。

合併基本計画は、1市6町広域化研究会で確認された①本格的な地方分権時代へと移行するなか、地方制度調査会において、道州制導入への道筋が示され、国や経済界などにおいて活発に議論されている状況からも、地方政府(ローカル・ガバメント)として、より専門的、技術的な能力を有するなど、強固な財政基盤をもつ自立した基礎自治体へと転換を図っていかねばならないこと。

②人口減少に加え、少子高齢化がより一層進展していくことが予想され、一方で、今後とも財政環境の大幅な改善が期待できないなか、合併によるスケールメリットを生かし、最小の経費で最大効果が発揮できる効率的な行財政運営を進めていかなければならないこと。

③大きく変わろうとしている地方分権時代を先取りし、中・長期的、あるいは広域的な視点から、6町長から提案のあった「豊かな自然と懐深い歴史と文化に立脚し、輝きと風格のある地域づくりをめざして」も参考として、持続可能な地域づくりを進めなければならぬこと。

の3点に留意しながら、長浜市・浅井町・びわ町合併協議会において作成された「新市まちづくり計画」をベースに、6町の総合計画等を加味しながら、法定協議会で策定することとなります。

### ◆合併市町村基本計画(財政運営の方針)

#### 調整方針(案)

財政運営の基本的な考え方として、長浜市財政健全化計画等を基本とし、合併後、効率的な類似団体都市と同規模の財政規模へと早期に構造改善を図るなどとする。

1市6町が合併し、ひとつの市になるものとして、人口や産業構造、面積が類似している都市と、財政の状況を比較すると下表のようになります。類似団体と比較すると歳出面では、歳出決算額で137億円、経常経費充当一般財源額で53億円多く、さらに、歳入面では、普通交付税で49億円多いという実態を踏まえ、経常経費を中心として、類似団体都市規模へと圧縮することはもとより、さらに、行財政運営の見直しを進めていかなければなりません。

(単位:億円)

都市名	人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	経常経費充当一般財源額		普通交付税額	歳出決算額
			決算額	一人当り額(千円)		
1市6町(合算額)	123,862	539	291.3	237	127.8	572.5
類似団体(Ⅲ-O)	119,574	506	238.2	199	78.7	435.3
差額	4,288	33	▲53.1	▲38	▲49.1	▲137.2
三条市	107,662	432	211.5	196	62.9	443.1
彦根市	107,860	98	196.8	182	39.1	329.0
草津市	115,455	48	196.7	170	0.0	337.5

お問合せは、合併推進室(☎6535)へ。

## 市連合自治会役員決定

平成20年度長浜市連合自治会の会長および副会長(3人)と監事(2人)が、4月17日(木)の役員会で決定され、27日の総会において報告されました。(敬称略)

会長 中川 泉(六荘連合)



副会長 北村 征美(西黒田連合)  
有木 重實(上草野連合)  
伊藤昇太郎(びわ連合)

監事 木沢 良三(第4連合)  
藤居 傳逸(神田連合)

お問合せは、長浜市連合自治会事務局(市民協働課市民自治グループ内)(☎8722)へ。

## 次々調印

### 進む企業誘致

○びわ細江工業団地に 大東金属株式会社



4月8日(火)に市役所で、大阪府西成区に本社を置く、大東金属株式会社と誘致協定の調印を行いました。同社は、細江工業団地で地震から建物を守る免震装置を取り付けるためのベースプレートを製作されます。工場は、鉄骨1部2階建てで操業開始は、今年の秋の予定だそうです。

### ○サイエンスパークに イオンデイライト株式会社



4月9日(水)に市役所で、大阪府中央区に本社を置く、イオンデイライト株式会社と誘致協定の調印を行いました。同社は、主にビルなどのメンテナンスを行われている会社で、国内では業界トップ。今後は、環境にやさしい「脱ケミカル」等の人材育成や研究・開発および製品化を目指す(仮称)イオンデイライトアカデミーながはま(高機能型教育研究施設)を建設されます。

## 子どもたちの健やかな成長願い

### 銅像設置



披露されたブロンズ像と作者の長谷川敏嗣さん(難波町)＝神照運動公園

市では、「子どもたちの健やかな成長に役立ててほしい」との思いでいただいた寄付金をもとに、長浜市子どもを犯罪の被害から守る条例の象徴として、ブロンズ像を制作し、神照運動公園に設置しました。その像は、全ての子どもたちに太陽の光が輝き、大志と勇気を持って生きてほしいとの願いを込めて「陽光」と名付けられました。

## 災害時には三笠ココロから飲料提供

3月24日(月)、市は、三笠コカコーラボトリング株式会社と「災害時における飲料の提供協力に関する協定」を結びました。

この協定は、災害救援型自動販売機の設置とその売上げに応じた飲料水の備蓄、さらには災害時の自動販売機内飲料の無料提供や、物流拠点内飲料の提供などを定めています。また、その自動販売機の前面にある電光掲示板には、避難を呼びかけるメッセージや災害情報などが表示できるようになっています。



災害救援型自動販売機のテープカットをする夏原部長と川島市長(右)＝市役所別館前で